SKY Perfect JSAT Corporation
News Release

2008年5月12日
スカパーJSAT株式会社

有価証券評価損に関するお知らせ

スカパーJSAT株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：仁藤　雅夫）は、連結貸借対照表において「投資有価証券」に区分される保有有価証券につき、時価が50%以上下落し、合理的に取得原価まで回復する見込みのないものについて、平成20年3月期において連結損益計算書上において評価損を計上する必要が生じましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

(A) 平成20年3月期末の有価証券評価損の総額	4,726百万円
(B) 平成19年3月期末の純資産の額	87,340百万円
(A)／(B)×100	5.4%
(C) 平成19年3月期以前の5事業年度の経常利益の額の平均	2,280百万円
(A)／(C)×100	207.3%
(D) 平成19年3月期以前の5事業年度の当期純利益の額の平均	1,690百万円
(A)／(D)×100	279.6%

（ご参考）

1．当社は平成19年4月2日にジェイサット株式会社と株式会社スカイパーフェクト・コミュニケーションズ（以下、スカイパーフェクTV）が株式移転により経営統合して設立された持株会社であり、平成19年3月期の連結損益計算書、連結貸借対照表が存在しないため、上記純資産の額、経常利益および当期純利益の額の平均の算出にあたっては、平成19年3月期の連結営業収益の額が大きいスカイパーフェクTVでの計上額をもとにしております。
2．評価損を計上する対象は、株式会社インデックス・ホールディングス株式（評価損の額3,785百万円）の他4銘柄です（計5銘柄）。
3．上記平成20年3月期末の有価証券評価損の総額のうち、約24億円は中間期において計上済です。
4．平成20年3月期の連結業績見通しにつきましては、平成20年2月13日に発表した前回見通しにおいて保有有価証券の第4四半期における減損の可能性を見込んでおり、前回見通しからの変動は軽微です。

以上